2年生　講義一覧

浄土教史概説Ⅱ （月曜日 2講時）　南　宏信

授業のテーマ

浄土宗の形成と展開

授業の概要

法然上人による浄土宗開宗から、二祖聖光、三祖良忠を経て、七祖聖冏によって伝法制度が確立し、独立した教団へと展開していった歴史について概説する。

授業の目的・ねらい

浄土宗教師として必要な教養や知識を身につけるために、浄土宗における典籍･人物･歴史を理解し、的確に説明できるようになる。

毎回の授業テーマ・内容

・はじめに―法然上人の相承―
・法然門下の異流について
・鎮西聖光上人について
・記主良忠上人について
・良忠上人の門下（京都三派）について
・良忠上人の門下（関東三派）について
・了誉聖冏上人について
・酉誉聖聰上人について
・聖聰上人の門下について
・伝法制度の変遷について
・道誉・感誉の伝法について
・関東十八檀林について
・僧侶養成制度について
・廃仏毀釈について
・廃仏毀釈以降

到達目標

立教開宗850年に渉る浄土宗の歴史を理解し、その知識を的確に説明できること。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

事前にテキストを一読しておくこと。
その際『新纂浄土宗大辞典』などの工具図書を駆使し、読み・意味を調べておくこと。

受講に当たっての留意事項

積極的な態度で受講すること。
不要な私語や居眠りは厳禁である。

成績評価の基準

定期試験（教室）　70%　講義内容から課題を出す。
授業内課題　　30%　講義中にレポートを課す。

テキストについて

『浄土宗史』 成田俊治・伊藤唯眞・平祐史 （浄土宗出版） 418円《価格は参考》

参考文献について

『浄土宗史概説』 恵谷隆戒 （佛教大学） 943円《価格は参考》 ISBN：9784907177003
『中世浄土宗教団史の研究』 玉山成元 （山喜房仏書林） 9,900円《価格は参考》
『浄土宗大年表』 藤本了泰編（玉山成元再編）（山喜房仏書林） 27,500円《価格は参考》
『近世浄土宗史の研究』 宇高良哲 （青史出版） 14,300円《価格は参考》 ISBN：9784921145521
『浄土宗の展開と総本山知恩院』 今堀太逸 （法藏館） 8,250円《価格は参考》 ISBN：9784831862488

浄土学概論Ⅱ （月曜日 3講時） 伊 藤 茂 樹

授業のテーマ

仏教のなかで浄土教がどのような役割から生まれたのか。またどのような特色を持つのか知り、その本質を学びます。

授業の概要

インド、中国、日本。法然上人とその周辺の浄土教思想を学ぶ。

授業の目的・ねらい

浄土教の概要を理解します。浄土教はインド、中国、日本に伝わります。三国に広がる浄土教の概要を理解します。浄土教の概要を理解する中で、法然浄土教の特色を理解することを目的とします。

毎回の授業テーマ・内容

「浄土教の基礎①－ 凡入報土」
「浄土教の基礎②－所求、所帰、去行」
「浄土教－インド①」
「浄土教－インド②」
「浄土教－インド③」
「浄土教－中国①」
「浄土教－中国②」
「浄土教－中国③」
「浄土教－日本①」
「浄土教－日本②」
「浄土教－日本③」
「浄土教の師資相承①」
「浄土教の師資相承②」
「末法思想」
「浄土教における教相判釈」
「観察と称名」
「誓願」
「菩提心と三心」
「浄土教芸術」

到達目標

浄土教の基礎的な用語を理解する。称名念仏、観察念仏、本願、信行。インド・中国・日本に伝わる浄土教の概要を徹底的に理解することを目標とします。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

教科書を読んでください。また関連する書籍をさがしてください。講義の後は、ノートを整理してください。

受講に当たっての留意事項

わからないことは、必ず自身で調べてください。

成績評価の基準

定期試験（教室）	80％	到達目標の内容に対する到達度を測り、評価します。
その他	20％	受講態度については、積極的な姿勢を求めます。

テキストについて

『浄土学概論』 坪井俊映 （佛教大学通信教育部） 2,409円《価格は参考》

伝道学Ⅱ （月曜日 4講時） 北 村 隆 彦

授業の概要

伝道の基本と実践

授業の概要

仏教・浄土宗の教義理解と信の深化、伝道実践

授業の目的・ねらい

伝道の基本を復習、確認。実践（作法、実演発表）を通して、伝道者（教師）のあるべき姿を目指し、伝道の力をつける。

毎回の授業テーマ・内容

1．浄土宗の教え
2．伝道作法の指導、実践
3．法話の構成について
4．伝道作法について
5．法話原稿の作成
6．法話の実演発表

到達目標

聴衆を前にして浄土宗教義について、自ら信じ、伝えることができるようになる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

法話実演の準備、原稿作成。

成績評価の基準

定期試験（教室）　40％
授業内発表　　40％
その他　　20％（授業出席 10％　受講態度 10％）

テキストについて

『伝道』　恵谷隆戒　（浄土宗）　275円《価格は参考》
『法然上人のお言葉－元祖大師法然上人御法語－』（知恩院布教師会）　509円《価格は参考》

仏教音楽 （月曜日 5講時）　小 川 隆 昭

授業のテーマ

仏教聖歌を学ぶ

授業の概要

浄土宗や浄土真宗が近代に整えた宗教音楽であり明治、昭和、平成にかけて、仏教をより広く伝えるために作曲された歌が中心。そして阿弥陀仏への信頼、極楽往生への願い、日常の心構えなどをテーマにしている。声明のような専門的な節ではなく、一般の人でも歌える旋律が多いのが特徴でメロディがわかりやすく歌いやすい。このような聖歌を将来の僧侶として学んでいく。

授業の目的・ねらい

東西を問わず､すべての音楽の源流は宗教にあります｡日本では仏教の声明が日本音楽に影響を与え、様々な変化をとげながら現在も伝えられています｡また明治以降､西洋音楽が日本の音楽に影響を与え、明治以降、教育現場にも仏教音楽が取り入れられました。現在は、さまざまな教育現場で宗教音楽を学ぶ機会が増えています。本授業では、日本の仏教音楽と西洋音楽を宗教儀式との関連や、現代社会が求める仏教音楽について学ぶことを目指します。

毎回の授業テーマ・内容

仏教音楽
宗教曲
声明
音楽法要連頌
新しい音楽法要

到達目標

聖歌が歌えるようになること

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

音程、リズム等必ず復習すること

成績評価の基準

定期試験（教室）　80％
定期試験（課題）　歌唱テスト
授業内発表　　20％

テキストについて

テキストを購入
『仏教聖歌』　佛教大学編
『浄土宗の「新しい音楽法要」』　小川隆宏

書道 （火曜日 1・2講時） 金 田 充 康

授業のテーマ

書の基本的な用具（筆・墨・硯・紙）の知識と使用法、技術の習得。
中国、日本の書の歴史及び書の文化の広範な理解。

授業の概要

書の歴史と書の鑑賞に精通する「書学」、書の技法と表現を追求する「書作」、それらから派生する「書の文化」を並行して学び、「書」に対する広い視野を養成する。

授業の目的・ねらい

書と書の文化に興味関心を持たせ、創造力及び鑑賞力を養う。

毎回の授業テーマ・内容

・書学
　中国書史
　日本書史
　書跡鑑賞研究
・書作
　古典の鑑賞と臨書
　　楷 書 法　　孔子廟堂碑　九成宮醴泉銘　雁塔聖教序
　　行草書法　　十七帖　蘭亭叙　集字聖教序　風信帖
　　篆隷書法　　泰山刻石　孔宙碑　曹全碑
　　仮名書法　　粘葉本和漢朗詠集　高野切
　作品制作
　　半切作品（浄土宗芸術祭への出品）
　実用書法
　　寺院ポスター、塔婆
　篆刻
　　自用印の制作
・書道文化
　文房四宝（筆・墨・硯・紙）の基本的使用法
　表装

到達目標

浄土三部経書写
掛け軸作品制作
作品集制作
篆刻作品集制作
色紙作品制作

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

毎日の写経（浄土三部経）
清書作品の提出
用具、用材の整備

成績評価の基準

授業内課題　60%　（課題は欠席しても提出すること）
その他　　40%　（授業出席 20%　授業態度 20%）

テキストについて

『書の古典と理論 改訂版』 全国大学書道学会 編 （光村図書出版） 2,200円《価格は参考》
ISBN：978-4-8138-0266-2

仏教史概説Ⅱ （火曜日 5講時） 下 端 啓 介

授業のテーマ

日本仏教史を学ぶ

授業の概要

古代から近世に至るまでの日本の仏教史を学び、日本の歴史と仏教との関係について考察する。

授業の目的・ねらい

・日本仏教について歴史的な観点から把握できるようになる。
・基礎的な歴史資料を解釈できるようになる。

毎回の授業テーマ・内容

・日本への仏教伝来
・『日本書紀』仏教伝来記事の検討
・飛鳥時代① 三宝興隆の詔
・飛鳥時代② 大化の改新と仏教
・奈良時代① 僧尼令の規定
・奈良時代② 僧侶の山林修行
・平安時代① 最澄の天台宗と空海の真言宗
・平安時代② 八宗体制の確立
・平安時代③ 古代仏教秩序の崩壊と浄土教の盛行
・鎌倉時代① 中世仏教に関する捉え方
・鎌倉時代② 顕密仏教と国家
・鎌倉時代③ 浄土宗と法難事件
・室町時代① 禅宗の盛行
・室町時代② 日蓮宗の京都進出
・戦国時代 一向一揆の形成と展開
・織豊期 新儀八宗の成立
・江戸時代 本末制度と寺請制度

到達目標

・各時代の日本仏教の特徴について説明できるようになる。
・現代の仏教が歴史的な所産であることを理解できるようになる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

・授業資料やノートを見返し、授業内容をしっかり復習すること。

受講に当たっての留意事項

居眠りなどはせず、集中して授業に取り組んでほしい。

成績評価の基準

定期試験（課題）	50％	授業内容についての理解度を計るレポート課題を出す。
授業内課題	50％	毎回の授業内容を十分に理解できているか、授業内での課題などで総合的に評価する。

テキストについて

授業内で適宜、配布する。

参考文献について

『日本仏教史―思想史としてのアプローチ』 末木文美士 （新潮社） 880円《価格は参考》
ISBN：9784103864011

選択集Ⅱ （水曜日 2講時） 田中 実 マルコス

授業のテーマ

『選択集』を読んで法然上人の浄土教を知る。

授業の概要

法然上人の主著『選択本願念仏集』の講読。第七章から第十六章まで講読する。

授業の目的・ねらい

法然上人の主著と位置付けられる『選択集』を読み解いていくことにより、浄土宗の教義と、その思想的意義を理解する。

毎回の授業テーマ・内容

1．前半（第一章から第六章）の復習
2．第七章　光明唯摂念仏行者篇について
3．第八章　三心篇について
4．第九章　四修法篇について
5．第十章　化仏讃歎篇について
6．第十一章　約対雑善讃歎念仏篇について
7．第十二章　付属念仏篇について
8．第十三章　念仏多善根篇について
9．第十四章　六方諸仏唯証誠念仏篇について
10．第十五章　六方諸仏護念念仏行者篇について
11．第十六章　以弥陀名号付属舎利弗篇について
12．『選択集』まとめ

到達目標

『選択集』第７章～第16章の概要について説明することができる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

・『選択集』をあらかじめ読んでおくこと。
・各章に引用される「浄土三部経」の経文を確認すること。
・授業中に各自に質問するので答えられるように予習すること。

受講に当たっての留意事項

浄土宗僧侶としての積極的な関心をもって授業に臨むこと。
各自で仏教辞典、古語辞典、漢和辞典を用意すること。
自分のノートをまとめること。

成績評価の基準

定期試験（教室）　80％
授業内発表　　20％

テキストについて

『選択本願念仏集』（浄土宗）　1,100円《価格は参考》

参考文献について

『選択集講座』　藤堂恭俊　（浄土宗）　1,980円《価格は参考》　ISBN：4883633314
『選択集全講』　石井教道　（平楽寺書店）　8,580円《価格は参考》
『選択本願念仏集』　石上善應　（ちくま学芸文庫）　1,650円《価格は参考》

悉曇　（水曜日 ３講時）　花　園　善　信

授業のテーマ

梵字悉曇

授業の概要

梵字悉曇文字の歴史。
梵字悉曇文字の毛筆による実習。

授業の目的・ねらい

悉曇梵字の基本と切り継ぎ点画。
本宗で使用する梵字悉曇文字の実習。

毎回の授業テーマ・内容

字母51字、板塔婆、角塔婆、十三仏、弥陀三尊、釈迦三尊、お名号、四天王などの毛筆による書写。

到達目標

梵字悉曇文字の理解と毛筆による書写の修得。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

平生のお稽古を心がける。

成績評価の基準

定期試験（教室）　20％　定期試験
定期試験（課題）　80％　お手本に対する書写の完成度の考査

テキストについて
『梵字悉曇伝習帳』 服部良誉 （佛教大学宗教教育センター） 1,000円《価格は参考》

宗教法制 （水曜日 ４講時） 野 田 雅 史

授業のテーマ
憲法、宗教法人法、墓地、埋葬等に関する法律、税法等の広い分野に跨る宗教法制を対象とする。
授業の概要
配付する資料とテキストを使用しながら憲法、法律、判例等について説明をする。
授業内試験を行うこともある。
※この授業は、実務家教員による授業です。
授業の目的・ねらい
宗教法制は、憲法、宗教法人法、墓地、埋葬等に関する法律、税法等の広い分野に跨っている。
受講者がこれらを理解することを目的とする。
毎回の授業テーマ・内容
・宗教法人法の基本理念と憲法
・信教の自由に関する判例について
・政教分離に関する判例について
・宗教法人の設立
・宗教法人の規則
・宗教法人の機関
・宗教法人の機関に関する判例
・宗教法人の財務
・宗教法人の事業
・宗教法人の税務
・宗教法人と信者
・包括宗教法人と被包括宗教法人
・宗教法人の合併と解散
・所轄庁の権限と宗教法人審議会
・墓地、埋葬等に関する法律について
・墓地、納骨堂の経営
到達目標
授業内容を理解し、記憶すること。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
テキスト等を読むなどして、予習すること。
復習をしっかりして、理解を深め、記憶すること。
成績評価の基準
定期試験（教室） 60％
授業内試験 20％
その他 20％ 受講態度
テキストについて
『浄土宗 宗教法制関係 法令資料集（第３版）』（浄土宗出版編 浄土宗出版） ISBN：9784883631605
参考文献について
『宗教法人ハンドブック〔十訂版〕設立･会計･税務のすべて』（税務経理協会） 1,760円《価格は参考》

宗教概説 （水曜日 ５講時） 西 本 明 央

授業のテーマ
宗教とはなにか
授業の概要
前期で「宗教学」という学問について概説し、後期で「罪」というテーマに絞って諸宗教の考えを概観する。

授業の目的・ねらい
　近代以降の宗教の見方について知る。
毎回の授業テーマ・内容
　私達の時代における宗教の限界と可能性について考える。
到達目標
　諸宗教に見られる共通の構造・普遍的な思想を理解する。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
　復習して疑問点を明らかにしておく。
受講にあたっての留意事項
　積極的な態度で授業に臨むこと。
成績評価の基準
　定期試験（課題）　60%　授業内容からまとめること。
　授業内発表　　10%　授業内容を要約し、理解したことについて発表すること。
　授業内試験　　30%　アンケート課題の提出。
テキストについて
　毎回、レジュメ・資料を配布するかGoogleクラスルームにアップします。

伝法概説 （木曜日 1講時）　曽 和 義 宏

授業のテーマ
　伝法史の概説と三巻書の講読
授業の概要
　浄土宗伝法の歴史を概説し、「三巻書」（『往生記』『末代念仏授手印』『領解末代念仏授手印抄』）を講読する。
授業の目的・ねらい
　・浄土宗伝法の歴史を理解すること。
　・浄土宗の教えを正しく受け止めることができるようになること。
毎回の授業テーマ・内容
　①浄土宗伝法の歴史について
　②「三巻書」講読
　　・法然上人『往生記』の講読と概説
　　・聖光上人『末代念仏授手印』の講読と概説
　　・良忠上人『領解末代念仏授手印抄』の講読と概説
到達目標
　①浄土宗伝法の由来と歴史を正しく説明できる。
　②「三巻書」で相伝される浄土宗の教えを正しく説明できる。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
　・事前にテキストを一読しておくこと。
　・浄土宗学の重要用語について再確認しておくこと。
　・講義終了後にノートを整理しておくこと。
受講に当たっての留意事項
　・浄土宗の法灯を継承していく者となる決意をもって授業に臨むこと。
成績評価の基準
　定期試験（教室）　80%
　授業内発表　　10%　質問に対する対応を評価の対象とする。
　その他　　10%　道場内の授業であるので、受講態度も評価の対象とする。
テキストについて
　『三巻書・授菩薩戒儀』　浄土宗聖典刊行委員会　（浄土宗）　1,100円《価格は参考》

仏典概説Ⅱ （木曜日 2講時） 加 藤 弘 孝

授業のテーマ

日常勤行式の解説

授業の概要

浄土宗の日常勤行式の解説

授業の目的・ねらい

浄土宗の日常勤行式の各偈文（香偈、三宝礼、四奉請など）の出典、およびその内容を解説する。平常、読誦する日常勤行式の各偈文は、様々な仏典より抽出されたものである。その偈文の出典を探り、内容を解説していく。なお「一枚起請文」などのご法語も解説する。

毎回の授業テーマ・内容

・浄土宗の日常勤行式
・香偈
・三宝礼
・四奉請、三奉請
・懺悔偈
・開経偈
・誦経
・諸回向偈
・摂益文
・総回向偈
・総願偈
・三身礼、送仏偈
・一枚起請文
・一紙小消息

到達目標

日常勤行式の各偈文の意義を理解するのと同時に全体の構成を把握できるようにする。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

日常勤行式の各偈文の意味、内容を意識して、平素より読誦すること。
各偈文の音読、訓読を平素から反復しておくこと。
適宜、配布するプリントを復習に用いること。

受講にあたっての留意事項

あらかじめテキストを通読しておくこと。

成績評価の基準

定期試験（教室） 50%
授業内発表 20%
その他 30%（感想記述 10% 受講態度 20%）

テキストについて

適宜、プリントを配付する。
『浄土宗日常勤行の話』 香月乗光 （浄土宗出版室） 1,540円《価格は参考》

詠唱Ⅱ （木曜日 3・4講時） 兼 岩 和 広

授業のテーマ

吉水流詠唱の習得（理解と実践）

授業の概要

吉水流詠唱のお唱えを中心とした実践がメイン。多くのお歌を習得し、鈴鉦を含めた威儀作法も整えていく。加えて、各曲の意味内容の理解に重点を置き、布教に役立つ詠唱となるよう、学習も行っていく。

授業の目的・ねらい

吉水流詠唱について理解し、多くの曲を習得することで、将来的に僧侶としての教化活動の一助として指導者的立場で実践できることを目指す。詠唱を交えた布教伝道の実践にまで踏み込んでいく。

毎回の授業テーマ・内容

第１回 詠唱の基礎 詠唱とは
第２回 詠唱の基礎 詠唱とは

第３回　詠唱の基礎　詠唱とは
第４回　詠唱の実践　お唱えと威儀作法の習得
第５回　詠唱の実践　お唱えと威儀作法の習得
第６回　詠唱の実践　お唱えと威儀作法の習得
第７回　詠唱の実践と理解　内容的理解を深める
第８回　詠唱の実践と理解　内容的理解を深める
第９回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践
第10回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践
第11回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践
第12回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践（試験）
第13回　詠唱の実践と理解　お唱えの実践（試験）

到達目標

詠唱の威儀作法としては、沢山のお歌を一人でお唱え出来る事を目指す。また僧侶としての将来的見地から、詠唱各曲の歌詞の理解を含めて布教伝道に生かせる詠唱となることを目指す。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

習った曲の内容について、書物等で理解を深めること。鈴鉦の扱いについては経験が必要なため、適宜練習しておくこと。

成績評価の基準

定期試験（教室）　50％
授業内発表　　50％

テキストについて

『吉水流詠歌集（音符用)』　浄土宗吉水講　（浄土宗吉水講）
『吉水流和讃集（音符用)』　浄土宗吉水講　（浄土宗吉水講）
『吉水流詠唱新曲合本』　浄土宗吉水講　（浄土宗吉水講）

円頓戒概説　（木曜日 ５講時）　齊　藤　隆　信

授業のテーマ

円頓戒を学ぶ

授業の概要

浄土宗が相伝している円頓戒の歴史・思想・授戒・持戒方法を学びます。

授業の目的・ねらい

円頓戒を実生活に運用すべく、その歴史と教えや目的と意義を明確に説明できるようになることをねらいとします。

毎回の授業テーマ・内容

１学期
・戒律概説
・円頓戒の歴史
・円頓戒の思想（三聚浄戒）
・円頓戒の思想（梵網戒）

２学期
・最澄の功績
・法然の授戒と持戒
・聖冏の伝戒論
・十二門戒儀

３学期
・念仏と円頓戒
・円頓戒の実践方法
・円頓戒の現代的意義
・復習

到達目標

円頓戒の理念と実践を説明することができる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
講義で学んだことを、どのように日常生活の中に活用できるのかを常に考えること。
受講に当たっての留意事項
これまで教えられた世俗的な道徳を一度放棄してみてください。
成績評価の基準
定期試験（教室）　60％
授業内発表　40％
テキストについて
『円頓戒講説』 齊藤隆信 （齊藤隆信研究室） 大学内大垣書店 1,650円《価格は参考》
『三巻書・授菩薩戒儀』 浄土宗聖典刊行委員会 （浄土宗） 1,100円《価格は参考》
参考文献について
『戒のある暮らし－仏教の自分貢献マニュアル－』 齊藤隆信 （法藏館） 2,200円《価格は参考》

三経概説Ⅱ （金曜日 1講時） 服 部 純 啓

授業のテーマ
『観無量寿経』・『阿弥陀経』の概説
授業の概要
浄土宗所依の経典「浄土三部経」のうち、『観無量寿経』と『阿弥陀経』について概説する。
授業の目的・ねらい
『観無量寿経』・『阿弥陀経』それぞれの成立と内容について理解する。
これら二つの経典に関して、法然上人がどのような解釈をおこなっているのか理解する。
『観経』については善導大師を始め､関係諸師の解釈を踏まえたうえで､浄土宗義における解釈を理解する。
毎回の授業テーマ・内容
主に以下の要点を押えながら講義をおこなう。
・『観無量寿経』概説
・『観無量寿経』研究史と善導大師・法然上人の解釈
・『観無量寿経』講読
・『阿弥陀経』概説
・『阿弥陀経』研究史と善導大師・法然上人の解釈
・『阿弥陀経』講読
到達目標
『観無量寿経』・『阿弥陀経』の成立年次、内容等を説明することができる。
法然上人・浄土宗義における「浄土三部経」の解釈が理解できる。
授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示
日々「浄土三部経」をよく通読しておくこと。
辞書等を使用し、読みや意味をあらかじめ調べておくこと。
受講に当たっての留意事項
・浄土宗の僧侶を志す者として自覚を持ち、真摯な態度で受講すること。
・講義中の不必要な私語、居眠りは厳禁とする。
・テキストを持参していない場合は欠席扱いとする。
成績評価の基準
定期試験（教室）　60％　講義内容に則った問題を出題し、その得点によって評価する。
授業内試験　20％　講義中に小テストを行い、その得点によって評価する。
その他　20％　受講態度、講義内での質疑応答などによって評価する。
テキストについて
必ず購入し持参すること
『浄土三部経』（下） 中村元・早島鏡正・紀野一義 訳注 （岩波文庫） 1,001円《価格は参考》
参考文献について
新訂版『浄土三部経概説』 坪井俊映 （法藏館） 15,730円《価格は参考》
『【現代語訳】浄土三部経』 浄土宗総合研究所 （浄土宗出版） 1,540円《価格は参考》
『浄土宗聖典』第１巻 浄土宗聖典刊行委員会 （浄土宗出版） 7,200円《価格は参考》

仏教学概論Ⅱ （金曜日 2講時） 田 中 裕 成

授業のテーマ

大乗仏教概論

授業の概要

我々が信仰する浄土思想あるいは、善導大師や法然上人の御教は、釈尊の滅後に登場した大乗仏教思想を基盤として成り立っている。この授業では、大乗仏教の歴史と大乗仏教の基本的な思想を学び、宗学を学ぶ上での基礎を身につける。

授業の目的・ねらい

①大乗仏教の成り立ちを学ぶ。
②大乗仏教の主要な概念を学ぶ。

毎回の授業テーマ・内容

1．部派仏教について
2．大乗仏教の成り立ち
3．菩薩思想
4．六波羅蜜
5．中観学派の思想
6．唯識学派の思想
7．浄土教の成り立ちと特徴
8．密教
9．大乗仏教の歴史と、その他の主要思想

到達目標

①大乗仏教の成り立ちを自分の言葉で説明できる。
②大乗仏教の主要な概念を自分の言葉で説明できる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

この授業を始め、道場生活では様々な仏教語や仏教特有の概念と出会います。知らない仏教語や知らない仏教の概念と出会った時は控えておいて、次の授業で質問してください。わからないことを少しずつ減らしていくことが仏教を学ぶ力になります。

受講に当たっての留意事項

授業の内容やそれに類する内容に関して随時受講者に意見を求めます。積極的に発言してください。また、事細かに板書は行いませんので、話した内容を必要に応じてノートやレジュメに控えるようにしてください。

成績評価の基準

定期試験（教室）	70％	授業で学んだことを自分の言葉で説明できるようになっているか問います。その内容に応じて評価します。
授業内発表	30％	授業内での質疑応答や、調べ学習の課題の提示を求め、その内容に応じて評価します。

テキストについて

授業中に適宜ハンドアウトも配布する。
『新訂仏教学概論』 教科書改訂検討委員会編 （浄土宗） 1,000円+税《価格は参考》

参考文献について

授業中に適宜指示を行う。

同和教育 （金曜日 3講時） 八 橋 秀 法

授業のテーマ

浄土宗教師に求められる、人権に対する意識を高める。

授業の概要

日本固有の人権問題である部落差別問題をはじめとする様々な差別や人権問題について、法然上人の万人平等救済の思想を踏まえつつ、共に学び、共に考えていく。

授業の目的・ねらい

部落問題に対する正しい理解と認識を持ち、様々な人権問題について自ら考え行動できる感性を磨く。

毎回の授業テーマ・内容

１学期　部落差別の歴史
２学期　インド、中国、日本における人間観
３学期　差別戒名

以上の講義を中心としつつ、
・人権の定義、人権感覚
・部落差別の歴史
・差別事象
・差別問題に対する取り組み
・佛教の平等思想
・法然上人の万人平等救済思想
・現代社会に存在する様々な人権問題
・佛教と人権、等
について考えていく。

到達目標

様々な人権問題に対して、浄土宗教師として、主体的に関わることができる。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

講義を聴くだけでなく、自分でもしっかりと考えること。
日々、様々な形で報道される差別や人権に関わる問題に対しても、意識を向けるように努める。

受講に当たっての留意事項

必要に応じ、学外でのフィールドワーク等（経費5,000円以内）を行うこともある。

成績評価の基準

定期試験（教室）　60％　到達目標の内容に対する到達度をはかり、評価する。
授業内発表　20％　授業内での発表内容によって、目標到達度を確認する。
授業内課題　20％　授業内で課す課題によって内容の理解度を確認する。

テキストについて

浄土宗人権教育シリーズⅠ『平等へのめざめ』改訂版（ISBN：9784883631674）　浄土宗　（浄土宗）

参考文献について

適宜、資料を配付する。
浄土宗人権教育シリーズ５『業を見すえて』（ISBN：9784883630646）　浄土宗　（浄土宗）
660円《価格は参考》

実践仏教学４　（金曜日 ４講時）　八　橋　秀　法

授業のテーマ

浄土宗における各種法要の解説。

授業の概要

浄土宗における各種法要について、由来・儀礼の意味について解説する。

授業の目的・ねらい

日常勤行式という基本を踏まえた上で、浄土宗が伝承している各種法要を理解する。

毎回の授業テーマ・内容

仏教実践の一手段である各種法要について講義を行う。
・年中行事
・盂蘭盆会
・施餓鬼会、など

到達目標

各種法要とその中で勤める儀礼の意義について理解する。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

積極的に学び、身につけようとする意欲を持つこと。

受講に当たっての留意事項

必要に応じ、学外での法要・フィールドワーク等（経費5,000円以内）を行うこともある。

成績評価の基準

定期試験（教室）　60%　到達目標の内容に対する到達度をはかり、評価する。
授業内発表　20%　授業内での発表によって、目標到達度を確認する。
授業内課題　20%　授業内で課す課題によって内容の理解度を確認する。

テキストについて

『浄土宗勤行法』（佛教大学）　2,500円《価格は参考》
『浄土宗法要集』上・下　新訂令和版　法式専門部会監修　浄土宗教学部編集　（浄土宗）
ISBN：9784883631636・ISBN：9784883631643
『法然上人のお言葉：元祖大師御法語』　知恩院浄土宗学研究所編集委員会編訳　（総本山知恩院布教師会）
509円《価格は参考》

参考文献について

適宜、資料を配付する。

実践仏教学５　（金曜日 ５講時）　八　橋　秀　法

授業のテーマ

浄土宗の各種法要の実習。

授業の概要

浄土宗寺院で勤められる各種法要の実習を行う。

授業の目的・ねらい

日常勤行式の基本を活用して、浄土宗伝承の各種法要、威儀、音声等を習得する。

毎回の授業テーマ・内容

実践仏教学４で解説した各種法要について、構成や偈文をより詳しく理解した上で実習を行う。
必要に応じて、聲明等の特殊な法儀も実習する。

到達目標

各種法要を端正に執行することが出来る。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

「道場」という場を大切にし、日々の生活の中で習い覚えること。

受講に当たっての留意事項

必要に応じ、学外での法要・フィールドワーク等（経費5,000円以内）を行うこともある。

成績評価の基準

定期試験（教室）　60%　到達目標の内容に対する到達度をはかり、評価する。
授業内発表　20%　授業内での発表によって、目標到達度を確認する。
授業内課題　20%　授業内で課す課題によって内容の理解度を確認する。

テキストについて

『浄土宗勤行法』（佛教大学）　2,500円《価格は参考》
『浄土宗法要集』上・下　新訂令和版　法式専門部会監修　浄土宗教学部編集　（浄土宗）
ISBN：9784883631636・ISBN：9784883631643
『縁の手帖』　浄土宗総合研究所　（浄土宗）　110円《価格は参考》

参考文献について

適宜、資料を配付する。
『浄土宗聲明集』（総本山知恩院）
『浄土宗書式文例集』　浄土宗書式文例集編集委員会編集　（浄土宗）　3,850円《価格は参考》
ISBN：9784883630714

法務実習Ⅱ （土曜日 1～5講時） 小 林 常 晋

授業の概要

宗祖の恩を知る。

授業の目的・ねらい

知恩院は法然上人の御遺跡、専修念仏発祥の聖地である。法然上人の御影のお側での法務実習を通して宗祖への畏敬の念を培う。又「信は荘厳より起る」と言われるが先ず清掃より始まる。諸堂での作務は自行即化他行であることを学習する。

毎回の授業テーマ・内容

1．日中法要での勤行、念仏、伴僧、諸堂での作務、志納所での寺務などを実践することにより僧として必要な法務、実務の習得を目ざす。
2．御忌大会において浄土宗最大規模の法要を体験することにより、浄土宗の法要形態を学ぶ。
3．彼岸会法要では、長時間の正座に耐えられるよう普段より鍛練しておくこと。

授業時間外の学習（予習・復習）についての具体的な指示

自から主体的に学び摂ろうとする積極性を求める。
常に参詣者の目に触れる為、礼儀作法に留意し真摯な態度で実習に臨むこと。

成績評価の基準

その他　　実習態度、出席率を重視する。

※ テキスト･参考文献の価格は変更となる場合があります。